

学校・地域連携協議会



平成25年3月発足

目的

農業高校生が、地域の農業の現状を学習することで、農業の意義や役割を理解する。

また、農業高校と関係機関や農家が互いに連携することで、農産物の生産技術の向上、商品開発等の諸課題に主体的に取り組む態度を身につけ、地域の農業を活性化する人材を育成する。

学校・地域連携協議会の構成

長門農林水産事務所 長門市役所農林課
山口県農業協同組合東部営農センター
JA長門大津田屋なす部会 長門ゆずきちの会
長門白オクラ部会 深川養鶏農業協同組合
（有）長門アグリスト 長門商工会議所
ながと大津商工会 山口県商工会連合会
大津緑洋高等学校教職員

期待される効果

- 生徒の地域農業に対する理解の促進、地元定着への意識づけ
- 関係機関や地域の学校教育活動に対する理解の促進
- 栽培技術の向上、新たな商品開発や宣伝効果

連携実績

○栽培圃場の見学・栽培技術の学習

【地元農家の見学・体験研修】

【農業・農村体験研修】



(イチゴ農家見学・体験)



(長門農家生活改善士による農家体験)



(牧場で乳牛の見学)



(長門産の農産物を使用した「おこめプリン」「こめごろん」作り)

○学校での試験栽培・栽培講習会

【白オクラ】



試験栽培の結果、純系等の選抜と育苗に成功し、栽培農家へ苗の提供を行うことができた。

アンケート調査と試験栽培の結果も踏まえ、長門白オクラ部会で、会員の皆さんと栽培方法の検討や意見交換ができた。

○販売促進活動

【白オクラ】



イオン防府店・マックスバリュー
吉敷店・イオン広島店

長門市、長門白オクラ部会、長門大津農業協同組合、ながと物産、イオンリテール株式会社の5団体が会員

○販売促進活動

【長門ゆずきち】



市内のスーパーと西日本やきとり祭りに参加し、販売促進活動を行いました。果樹専攻の生徒が、地元の方はもちろん全国への知名度を上げるべく、協力させてもらいました。販売促進を通して、長門ゆずきちの魅力やおいしさをPRすることができたと思います。

○加工商品の開発

【長門ラボとの連携：ベーコンを活用した新製品の開発】



(本校製造のベーコンを活用した新製品の開発について、商品開発アドバイザーに商品相談。)

【長門ラボとの連携：ジャム瓶の新ラベルの制作】



(本校製造のジャムの瓶に貼るラベルの制作について、プロのデザイナーからアドバイス。)

○小学校等での食育活動

【地元保育園との交流：サツマイモを活用した食育活動】



(高校生の指導によるサツマイモの植え付け、収穫からスイーツ作り、試食までの一連の食育体験交流)

【地元保育園との交流：エアーポテトを活用した食育活動】



(高校生の指導によるグリーンカーテン作り、収穫からお好み焼き作り、試食までの一連の食育体験交流)

○その他

【農林水産事務所との連携：本校飼育牛の発育・肉質等の調査】



(牛の肉質、脂肪交雑の程度を調査のためのエコー検査の学習)

【地元畜産農家との交流：地域の畜産農家との情報交換】



(プロジェクト学習の研究成果の発表、地元畜産業の課題や発展に関する意見交換会)